



ID: 1417

科目名	教育方法論【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	小川 勤			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
教職							
授業概要							
<p>本授業では、教育方法のうち授業構成要素(目標、内容、指導方法・学習方法、指導組織・形態、学習組織・形態、学習環境・メディア、学習評価等)を中心に理解を深めると共に、その工夫・改善のあり方について検討する。これらの活動を通して、教育方法に関する独自の考えをもち、理論的に説明できる能力を身につけることを目指す。また、講義の中で教材の研究開発やマイクロティーチングなどの模擬授業を実施し、具体的に授業分析や協議を通して、授業の計画・実施・評価のあり方について体験的に理解できるようにする。</p>							
到達目標							
<p>・教育方法、教育課程、ICTなどの情報機器及び教材の活用方法に関して、基礎的な考え方を理解している。・授業の構成要素の基本的な考え方を理解しているとともに、その工夫・改善について自らの考えを明らかにすることができる。・教材開発を通して、児童生徒の学習の理解度を深化させる効果的な利用方法などについて体得している。・模擬授業などの実践的な教育活動を通して授業の計画・実施・評価のあり方について体験的に理解している。</p>							
授業計画							
第1回	イントロダクション(なぜ教育方法を学ぶのか。本授業の概要と目標)						
第2回	教育方法論の概観(近現代の教育方法の変遷を概観し、現代における教育方法について考察する。)						
第3回	教育課程(教育課程の変遷と学習指導要領の今次の改訂から求められる授業改善の方向性について考察する。)						
第4回	授業と学力および教育目標(授業とは何か。学力とは何か。教育目標の設定及び評価の工夫)						
第5回	授業を構成している要素の分類整理と構造化						
第6回	教師の教えと子ども理解(他者理解と教授法)						
第7回	指導組織・形態と指導方法の工夫						
第8回	学習組織・形態と学習方法の工夫						
第9回	視聴覚メディアとコンピュータの活用(授業とメディアについて考え、コンピュータ等の活用方法について理解する。視聴覚教育の本質と今日的課題について考察する。)						
第10回	教材開発のワークショップ1(素材研究)						
第11回	教材開発のワークショップ2(指導法)						
第12回	授業設計及び授業分析のワークショップ1(授業計画:指導案の作成、強制連結法)						
第13回	授業設計及び授業分析のワークショップ2(授業実践)						
第14回	授業設計及び授業分析のワークショップ3(授業評価)						
第15回	振り返りとまとめ						
評価方法及び基準			評価項目と割合(%)				
・ワークショップ実施後のレポート(40%)、授業・ワークショップへの取組状況(10%)、期末レポート(50%)			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
					40	50	10
授業外学習			テキスト、教材				
			教科書は特に使用しない。担当者が講義用レジュメや資料を準備する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
毎回授業中に、講義用レジュメ(穴埋め方式)を配布する。参考図書は授業中に随時紹介する。							
キーワード							